

あなたの技術を
必要としている人がいる。



生活支援 ロボット コンテスト



病気・事故・加齢などにより日常生活で支援を必要とする人は世界的に増加しています。下肢麻痺などで車いす生活を送る方が、介助者に依存せず、残存機能を活かして「自立歩行」を実現できる革新的ツールが広く社会実装されるために、世界各国の研究者・開発者を支援する「生活支援ロボットコンテスト」を開催し、実用性・安全性・普及性を備えた技術の創出と加速を図ります。

朝起きてから寝るまでの日常生活の動作「トイレ」、「身支度」、「食事」、「荷物の受取り」、「洗濯」、「掃除」、「入浴」を7つの課題として設定。下肢麻痺があり普段車いすをお使いのパイロットが、ロボットを使いこなし、自身の足で歩いて制限時間内に課題を実施するものです。2021年、2023年、2024年と開催し、今回が4回目の開催になります。



成果報告会（展示・デモンストレーション）

Global Innovation Challenge 2025にて課題を達成したチームとロボットがTSUKUBA福祉機器展に集合します。スイス、メキシコ、日本、台湾の4か国のチームのプレゼンテーションとともに、各チームが開発したロボットを使ったデモンストレーション（実際にロボットを装着して、立ち座り、歩行を実演する様子）を間近で見ることができます。世界の最新のロボット技術に触れ、進化を感じることができる機会です。皆様のお越しをお待ちしております。

日時：2025年11月22日（土）パネル展示 10時～16時

（デモンストレーションは11時～12時と13時～14時の2回）

場所：つくばカピオ（茨城県つくば市竹園1-10-1）

お問い合わせ：Global Innovation Challenge 実行委員会

inquiry@global-innovation-challenge.com

※入場無料、事前予約不要

TSUKUBA福祉機器展の詳細



成果報告会 参加チーム

TWIIICE

チーム名：TWIIICE

本拠地：スイス

参加実績：GIC2021 課題 1～6達成
GIC2025 課題 1～4

TWIIICE（トゥワイイス）はスイスに拠点を置く企業です。歩行補助用のモジュール式外骨格として、2015年から開発が始まりました。ロボットは、身長150～180cmに対応し、膝と腰に各1つの小型モーターを内蔵コンピューターで制御します。重量約15kgで、最大1.6km/hの歩行が可能。操作は杖のボタンで行い、バランスは使用者自身が杖を使って取ります。設計は堅牢・信頼・軽量を重視したシンプルさが特徴です。



ROKI

チーム名：ROKI Robotics

本拠地：メキシコ

参加実績：GIC2025 課題1～7

ROKI Robotics（ロキ ロボティクス）は脊髄損傷者の歩行を可能にする外骨格を開発するメキシコのスタートアップです。企業の使命は、脊髄損傷の治療法を見つけ、車椅子利用者が自らの足で人生を歩めるよう、最先端のデバイスを創造することです。GIC2025に初参加で課題1～7に挑戦。初出場にしてコンテスト史上初となる課題7の入浴に挑戦しました。



FREE Bionics

チーム名：FREE Bionics Japan

本拠地：台湾・日本

参加実績：GIC2021 課題 1～6達成
GIC2024 課題 1～6
GIC2025 課題 1～4

FREE Bionics Japan（フリーバイオニクス）は、台湾に拠点を置くFREE Bionicsの子会社で、歩行支援ロボット「FREE Walk」などの研究・開発を行い、障害のある方の抱える課題の解決のために日々尽力しています。全従業員が初心を忘れずに技術の開発に邁進し、台湾から世界へ向けて、台湾政府機関工業技術研究院（日本産総研にあたる）の精神を受け継ぎ、世界の福祉をリードするために日々進化しています。



WPAL

Wearable power-Assist Locomotor

チーム名：FREE Bionics Japan

本拠地：日本

参加実績：GIC2021 課題 1～4達成
GIC2023 課題2達成
GIC2024 課題2,3達成
GIC2025 課題 1～4

WPAL（Wearable Power-Assist Locomotor：ウーパール）は、藤田医科大学と東名ブレース株式会社が共同開発したロボットです。

このロボットは、アクチュエータが使用者の両下肢の内側に配置されていることが特徴的です。

左右の動揺に対して非常に安定的な構造となっています。制御器とバッテリーが歩行器に取付けられているため、パイロットが身に着ける装置が軽量でシンプルな外骨格ロボットとなっています。



コンテストの詳細はこちらから→



【主催】 Global Innovation Challenge 実行委員会

【特別協賛】 株式会社TKF 【協賛】 つくば市

【後援】 株式会社JTB、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、SMBC日興証券株式会社、株式会社三井住友銀行